



2008～09 年度
国際ロータリー会長

李 東 建

Weekly Report Niigata



2008～09 年度
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 1 月第 3 例会 (2009.1.20) No.2784

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

先週は新年家族例会という事で、沢山のゲストと多くの会員をお迎えして鍋茶屋の大広間が満杯に近いという盛会でした。お世話戴いた大前親睦委員長以下親睦委員会の皆様に厚くお礼もうしあげます。また一昨日は交通遺児とそのご家族 27 名と当クラブの会員 17 名の参加を得て餅つき大会を行いました。社会奉仕委員会の竹石大委員長・地主委員長また各委員の皆様にも厚くお礼申し上げます。なお当日は清水建設の山口支店長のご好意により会場のご提供を頂きました。さらに清水建設社員総出でボランティアとしてお手伝いを頂きました。厚くお礼申し上げます。交通遺児とそのご家族の皆さんも大いに楽しんでお帰りいただきました。子供さんたちの嬉しそうな楽しそうな笑顔を見れば心ななむものがありました。

さて、小児とは何かを一寸考えてみたいと思います。精神的には純真無垢、身体的には大人を小型化したものという事でしょうか。

純真無垢であるかどうかということになりますと、実際には結構他愛ない嘘をついたり芝居をしたりして大人を手玉に取ることもありますから、大悪魔ではないにしろ小さな悪魔という面も持っております。

一方、外見的に見て小児とは大人を小型化したものであるとも言えないこともありません。しかし生物学的に言いますとこれは全くの間違いです。小児は乳児から思春期に至るまで常に変化し続けている存在であり、大人のような恒常的・安定的なものではありません。生化学的な検査値(正常値)なども年齢と共に変化しますし、さまざまな生理学的機能もそうです。

医学的にこの変化し続ける対象を診るということは大変興味深く面白いことです。また小児は将来に無限の可能性を秘めている存在でもあります。それだけに小児医療はやりがいのあるものであります。小児科は小児を診る科ですが、検査・処置を問わず何事につけ手間がかかります。また経済的には必ずしも恵まれているとは申せません。しかし、このやりがいのある小児医学・医療をになう小児科医が一人でも多く誕生してくれることを願わずにはおれません。

(3) 小島国人さんへポールハリスフェロー認証状、メダル贈呈

(4) 次年度地区委員委嘱状の伝達

ロータリー財団学友委員長 高橋 秀樹さん

(5) 委員会報告

・大前 淳二親睦委員長より 1 月 13 日に開催された新年家族会の報告と御礼があった。

・地主 正人社会奉仕委員長

1 月 18 日 清水建設(株)北陸支店新潟営業所社屋をお借りして交通遺児、11 世帯 27 名を招待し餅つき大会を開催致しました。新潟市の担当、ロータリーメンバー 17 名、清水建設の社員のお手伝いをいただき段取りよく和やかに進める事が出来ました。フラダンス、ビンゴゲームがあり子供達が賞品をもらって、楽しそうに過していました。

・宇尾野 隆 RA 委員長

平成 21 年 3 月 8 日(日)第 39 回ローターアクト年次大会が紫竹山の学生総合プラザ STEP に於いて開催されます。今年のテーマは「輝風(きふう)～時代への架け橋～」です。参加ご希望、詳細は新潟ロータリークラブ事務局へ連絡願います。

(6) 卓話「酢の効用」

(株)ミツカンドライ事業カンパニー・
マーケティング本部
開発技術課課長 赤野 裕文 氏